

議事概要

件 名	第3回ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略会議	作成課	企画部 政策企画課
日 時	平成30年1月29日（月） 13時30分～15時		
場 所	市役所みなと大通り別館 6階 A・B会議室		
出席者	ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略会議委員（15名中） 11名		
市出席者	事務局： 企画財政局長、企画部長、政策企画課長、国際交流課長、産業政策課長、観光プロモーション課長		
会 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 戦略骨子（案）について (2) 意見交換 <ol style="list-style-type: none"> ① 目指す姿について ② 基本戦略と基本方針について ③ 重点プロジェクトについて ④ 全体構成等について（戦略の期間、推進体制など） (3) その他 3 閉会 		
主な 内容等	<p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アジアの日常化」を進めるためには、市民がアジアと触れ合える「場」をつくることが大切。 ・戦術的な部分では、細かなターゲット設定が必要であり、情報収集等を考えると産学官連携でアジアに事務所を置く取組も考えられる。 ・戦略で目指す内容はわかりやすくなってきた。アジアとの交流について、こちらからアジアへ出ていく部分のイメージが弱く感じる。若者がもっと海外に出ていく機会を作る取組が必要。 ・戦略骨子案について、全体的にはよくまとまっていると思うが、具体的に何を行うかという部分は、専門の皆さんからそれぞれ意見をいただき、議論してはどうか。 ・観光面ではMICEの誘致が重要。具体的な取組で鹿児島らしさをどう打ち出すかがポイント。例えば温泉、医療、火山、食などのツーリズムの創出等、鹿児島の特徴を生かした取組を盛り込んで。 ・今はアジアでも、将来的にはアジアに限らず世界へ羽ばたくというイメージが必要。 ・市民の中で、アジアの活力を取り込んでいく必要性や危機感などを共有していく必要があると考えるが、そのためには長期的な地道な取組が必要。 ・学生など若い世代が、わがまち鹿児島のことを知り、アジアとさらに外の世界をもっと知りたいと思ってほしい。 ・今年鹿児島で開催される国際青年会議所アジア太平洋地域会議（ASPAC）は鹿児島でのMICE開催の試金石になるとともに、人材育成やリピーターづくりの重要な機会となる。ここで培われたネットワークを生かすような取組が重要。 		